

第3回未来デザイン会議（丹波地域）概要

日 時：令和2年11月1日（日）13:00～15:30

場 所：丹南商工会館会議室

委託先：一般社団法人BEET

参加者：丹波篠山市 2名

丹波市 1名

主に前回の続き作業、今回初参加となるメンバーには、概要の説明も行った。

I 概要

- ・今回は、2050年の未来の姿のアイデア1,000個に向けてアイデアのヒントを作成。
- ・今後、〇〇×〇〇のヒントをもとに各自アイデアをGoogleスプレッドシートで作成。
- ・最終的にアイデアを冊子にして、共有。

II 内容

1 趣旨説明（細見氏、本多氏）

<2050年の未来を考える>

- ・30年後どうなるかイメージは難しい。まさにアニメの世界で起きていることを書き出していくようなイメージ。

<アイデア出し>

- ・そこで起こりうる可能性と課題をかけあわせて未来を考えてみる。
- ・アイデアをもとに、こんなまちになったらいいなという方向性をつくる。
- ・限られた資源、とりあいになる。独自性はあるか。誰も考えてないアイデアを出す。

2 アイデア出し

- ・前回出た、魅力・課題と未来で起こることを掛け合わせてアイデアをつくる。
- ・全体で1,000個のアイデアを目指し、ひとり50個目標。
- ・前回終了後からもアイデアの種は徐々に増加しているが、皆結構慎重で、もう数年後には現実可能なアイデアが多い。30年後など誰も想像しえないものが増えるので、もっとぶっ飛んだ発想も必要。
- ・会議は6回行う予定で、今回はその3回目。当初は5回の予定だったが、予想に反してアイデアの数が伸び悩んでいるので、回数をもう1回増やす。
- ・大人数だとアイデアが出にくい傾向があるので、次回4回目までに、丹波篠山市、丹波市、学生、それぞれで少人数での勉強会を実施する予定。そこである程度のアイデア出しの感覚をつかんでもらう。
- ・単発での参加も可とし、1,2個だけでもいいのでアイデアを広く集められるよう、すでに参加しているメンバー以外にも声がけをする。
- ・Googleのスプレッドシートを共有して、どんどんアイデアを入力してもらおう。
- ・最終的にはカテゴリーごとに冊子にまとめ、共有する。

3 アイデアを出しやすくするために

(1) 30年後の未来について語る

○Aさん

- ・超高齢化が進み、便利な都会に人口が集中する。人口に占める後期高齢者が多くなる。
- ・ヒューマンズという海外ドラマを見ているが、その内容は人そっくりのロボットが人の生活をサポートするというもの。ドラマを見ていると、いつか人工知能が人を超えてしまうのではないかと感じる。

○細見氏

- ・今回、コロナというたった1つの病気で、リモートのメリット、都会のデメリットが浮き彫りになった。
- ・兵庫県全体のビジョンで考えてもだめで、丹波は丹波でビジョンを考えていかないといけない。
- ・田舎のデメリットはテクノロジーが解決してくれる。都会に住むメリットはなくなるのではないか。
- ・丹波篠山、丹波でないとダメ、というような独自性が必要。そのためには何かしらの先進地域になる必要がある。
- ・もはや大学もオンラインで全てが完結できるようになっている。丹波からの人口流出の大きな要因である若者の流出も、学びがオンライン化すれば解決できるかもしれない。

(2) マンダラートによる発想法

- ・紙に書かれた9×9のマスにアイデアを埋めていくことで、アイデアを深めることができるという手法。まずはここからヒントを作ることで、スムーズにアイデアを出せる。

<アイデアの構成>

タイトル	概要	背景	効果
------	----	----	----

<アイデア例>

Bさん：9個（以下は一例）

○スローライフ×大災害

→災害の少ない丹波地域に、常設の仮設住宅をつくる。災害時にはすぐにそこに住めし、田舎暮らしの体験する住宅などとしても活用できる。

○価値観が古い×エンタメ

→丹波篠山に、田舎の良さを体感できるテーマパークをつくる。30年後には、もう残っていないかもしれない田舎のコミュニティを体験できる施設として人気を博す。

○空き家問題×移民

→丹波地域に海外からの移民村をつくる。過疎が進行し人がいなくなった集落をまるごと外国の人に住んでもらうようにすることで、集落が崩壊ことなく維持され活気づく。

Aさん：25個（以下は一例）

○田舎映えスポット×田舎崩壊

→東京一極集中が更に進み人が集まりすぎること、田舎のよさが見直されることになり、逆に田舎に人口が流入することになる。そうなれば田舎は発展していく。

○教育の場がない×制度の崩壊

→義務教育制度が変わる。日本では海外のように飛び級制度がなく、才能がある子どもも埋もれてしまっている。そのような制限をなくし、丹波地域でも高度な教育ができるようにする。

○情報格差×格差社会

→情報が一番重要な社会になり、情報を持っている人とそうでない人の格差がますます大きくなる。

○獣害・無視問題×エンタメ

→害獣などを狩る新しいスポーツが誕生する。

<会場の様子>

